

新生児聴覚スクリーニング検査の実施について

H24. 6月～7月調査実施(対象はH23年度(H23. 4月～H24. 3月))

36施設(病院9病院、クリニック18施設、助産所9施設)配布
回答36施設(100%回答)

H24.9.3修正

I 出生数及び実施数

出生数及び実施数

出生数(施設回答より)	10,989	%	
検査実施数(施設回答より)	5,132	46.7	実施割合(実施数/出生数)
要再検査数	78	1.5	要再検査割合(要再検査数/実施数)
精密検査医療機関紹介数	15	0.3	精密検査割合(精密検査数/実施数)

II 実施について

データの個数 / 医療機関名			
スクリーニング検査の実施(1:有 2:無)	集計		%
1	20		55.6
2	16		44.4
総計	36		100.0

20施設で実施(55.6%)

(医療機関のみの場合、19施設/27施設(70.4))

1-2) ① 検査の種類について

データの個数 / 医療機関名			
ありの場合方法(1:AABR 2:OAE)	集計		%
1:AABR	11		55.0
2:OAE	8		40.0
1,2OAE refer→AABR施行	1		5.0
実施なし	16		
総計	36		

実施施設20施設について

11施設(55%)でAABR実施

8施設(40%)でOAE実施

1施設はOAE実施し、referならAABR実施

1-2) ② 実施数等について

検査実施数(施設回答より)	5,132	46.7	実施割合(実施数/出生数)
要再検査数	78	1.5	要再検査割合(要再検査数/実施数)
精密検査医療機関紹介数	15	0.3	精密検査割合(精密検査数/実施数)

1-2) ③ 実施時期について

データの個数 / 医療機関名			
③実施時期	集計		%
1(生後1週以内)	19		95.0
2(2週以内)	1		5.0
実施なし	16		
総計	36		

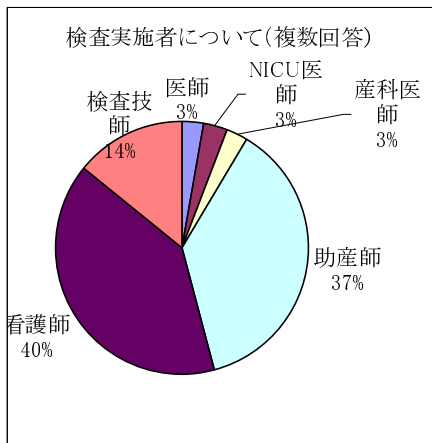
実施施設20施設について

19施設(95%)で生後1週以内に実施

1施設(5%)で生後2週以内に実施

1-2) ④ 実施者について(複数回答)

実施者	数	(複数回答)
医師	1	
NICU医師	1	
産科医師	1	
助産師	13	
看護師	14	
検査技師	5	
	35	



1-2) ⑤ 検査に要する時間について

データの個数 / 医療機関名			
⑤検査に要する時間	集計		%
1(5分未満)	8		40.0
2(5分以上15分未満)	11		55.0
2(スムーズにいけば)	1		5.0
実施なし	16		
総計	36		

1-2) ⑥ 実施後の要再検査への対応について

データの個数 / 医療機関名			
⑥要検査時の対応	集計		
1(自施設で再検査実施)	2	}	3施設(15%)自施設で要再検査実施
1(耳鼻科に紹介)	1		
2(自施設で再検査実施し、必要時精密検査に紹介)	6	}	13施設(65%)が自施設で要再検査実施し、精密検査紹介す
2(医大へ)	1		
2(県立奈良病院耳鼻科へ)	2		
2(自施設内耳鼻科)	1	}	4施設(20%)が要再検査実施せず、紹介する
2(精密医療機関へ)	3		
3(精密検査医療機関・医大)	2	}	
3(精密検査に紹介)	2		
実施なし	16		
総計	36		

1-2) ⑥-1 要再検査の実施時期について

データの個数 / 医療機関名	集計	%
⑥要検査時の実施時期		
1(生後2週以内)	11	55.0
2(1か月未満)	2	10.0
3(1か月以上～2か月未満)	2	10.0
referが出たら耳鼻科紹介するので、その後は、耳鼻科の方針で。NICU,GCUは入院中にどこかで実施。	1	5.0
未回答	3	15.0
実施なし	17	
総計	36	

実施施設20施設のうち
 11施設(55%)が生後2週以内に再検査実施
 2施設(10%)が1か月未満に再検査実施
 2施設(10%)が2か月未満に再検査実施

1-2) ⑦ 保護者への説明について

データの個数 / 医療機関名	集計	%
⑦保護者への説明		
1(あり)	17	85.0
2(なし)	3	15.0
(空白)	16	
総計	36	

実施施設20施設のうち
 17施設(85%)が保護者への説明あり
 3施設(15%)が保護者への説明なし

1-2) ⑧ 母子手帳への記載について

データの個数 / 医療機関名	集計	%
⑧母子手帳記入		
1(あり)	13	65.0
2(なし)	6	30.0
2(判定用紙を保護者に渡している)	1	5.0
(空白)	16	
総計	36	

実施施設20施設のうち
 13施設(65%)が母子手帳に記入あり
 6施設(30%)が母子手帳記入なし

II 1. -2

未実施の医療機関16施設の回答

今後実施も含めて検討中	7
今後、実施の予定はない	7
その他	2
合計	16

III 実施するための課題、現在困っていること 施設数/回答あり施設数

	施設数	%
1 実施するための機器の導入	7	24.1
2 実施者の確保	6	20.7
3 要再検査 (refer) の体制	4	13.8
4 実施後の保護者のフォロー体制	6	20.7
5 精密検査実施機関との連携	6	20.7
	29	100.0

III 実施するための課題、現在困っていること(自由記載)

○ 分院でも実施できるスタッフの確保等、状況が整えばスクリーニング検査の実施を行いたいと思う。

○ III-1について 高価(外国製、使用台数が少ない)
 III-3について 1回目正常であっても2回目をいつの時期に実施するか?
 III-4について 実施すると決まれば、保護者にどう説明するか(異常あるのですが、という。なぜ急に決まったんですかという)
 III-5について 産科医か耳鼻科医が施行するのもかも異常あれば、どちらが説明するのか連携、話し合いが無ければ無理だと考えます。

○ できれば公的なところでスクリーニングをして頂きたいと思えます

○ 実施するための機器を導入するのは高額にて難しい。再検査が必要になった場合、診療可能な医療機関やフォロー

○ コストと保護者への負担の金額。高額な機器なら検査ミスがないのか。検査して、要再検となり、精査でNPとなった時、その家族の精神的ストレスを考えるとより、精度の高い機器を用意した方が良いと考えるが、コストが高すぎる。耳鼻科の専門医のもとで、新生児が集まり、検査いただける方法も検討して欲しい。

データの個数 / 医療機関名	スクリーニング検査の実施(1:有)	2	総計
実施なしの場合(1:実施予定あり 2:実施)	1	2	3
2:実施予定なし	7	7	14
1:H24. 10月頃	1	1	2
1:H24年7月中旬予定(AABR)	1	1	2
1:H25年4月頃、すると決まれば、臨機応変に実施(AABR購入または、耳鼻科委託)	1	1	2
1:今、機器を選んでいる	1	1	2
1:未定	3	3	6
3:希望者には囁託医でのAABR法又は耳鼻科紹介	1	1	2
3:必要なことであれば、何らかの手だても考える方向です(空白)	1	1	2
総計	20	16	36